

横浜 YMCA 学院専門学校
2025 年度 教育課程編成委員会 議事録

開催日時:2026 年 3 月 12 日(木)13:00~14:00

開催場所:本校 8 階 801 教室にて実施

参加者:山下 忠司・小倉三奈・平岡守

欠席者:奥原 孝幸・上羽 航・井上裕太 ※意見書について事前回答

(敬称略・順不同)

1. 開会・校長挨拶

2025 年度は校長が山下忠司、予算執行責任者も山下忠司が担当し、運営を実施。また、作業療法科の学科長は引き続き、遠藤陵晃にて学科運営をしてきた。国際情報ビジネス科については小倉三奈が学科長を務めて運営をしてきた。

作業療法科は募集停止をしてから、最終の学年が卒業をする年度となり、2026 年 2 月の国家試験についても 10 名全員が自己採点で合格予定であることを報告した。最終学年全員が卒業と国家試験の合格を取得し、作業療法科は学科の運営を閉じる事となる。その後、学校の体制と状況を振り返り報告。

2. 2026 年度カリキュラムについて

校長の山下忠司より説明がなされた。作業療法科については神奈川県への課程の廃止を申請し、年度末に承認予定である。今後は作業療法科の廃科に伴い、国際情報ビジネス科の学生定員を 80 名から 160 名に変更申請を行っており、2026 年 3 月末までに承認予定ということ传达了。

2026 年度の国際情報ビジネス科の学生数は 1 年生が 63 名となり、2 年生が 40 名となることを報告。

今後は国際情報ビジネス科の学生が中心となり、学校運営を行っていく事、学生数の増加により、個々の学生に合った指導方法の重要性を確認し、今後の学校運営について意見交換を行った。また、今後のカリキュラム変更について委員より意見をいただいた。

<意見交換>

奥原・上羽委員より

作業療法科の廃科と最終学年の状況について

⇒最終学年の卒業生全員が留年することなく、卒業と国家試験に合格予定であることは、評価ができる。

最終学年の学生たちが作業療法士となり、今後も社会で活躍をしてくれることを願っている。

また、学校の校友会の卒業生たちが中心となり、作業療法科の閉科式典を横浜桜木町ワシントンホテルにて実施できたことも、学科の終わりは悲しいが、学科の廃止を丁寧に終えられたと感じている。

今後の横浜 YMCA 学院専門学校の発展を願うと共に、卒業生の今後の活躍を見守っていきたい。

井上委員より

国際情報ビジネス科の今後のカリキュラムに取り入れたい科目等、意見交換を実施

⇒ 国際情報ビジネス科の学生たちは年々、優秀な学生たちが増えてきている。就職が最終目標になるので、デスクワークで使用できる実践的な資格取得を目指してほしい。ホテルでの勤務を目指す学生には自主的にホテルで活かされる資格取得を目指してほしい。外部団体の資格試験に積極的に申し込みをして挑戦してほしい。学校内で実施ができる試験がないか？再度、確認をする。

現在は簿記初級～3 級、2 級及び J 検定 3 級～2 級を学校で受験することができる。2026 年度から MOS のスペシャリストを学校内で受験ができるように調整をしている。

留学生には日本語力を底上げする取り組みができないか？学校でも補習等を検討してみてはどうか？

3. 閉会

本日いただいた意見を反映させながら、学生支援の場面や授業で取り組む内容(資格の取得や社会人としてのマナー、コミュニケーション能力、他者を思いやれる心)を社会に出る前に身に付けられるように学校としても、引き続き取り組んで参ります。

作業療法科の運営は 2025 年度で最終となりますが、無事に卒業生全員が新たな社会人として踏み出すこと、彼らの今後の活躍を願い、閉会の挨拶とした。

※本校、作業療法科は 2023 年度より募集を停止

以上